

取扱説明書



エアーリベッター

注文コード:08563083

使用空気圧力(MPa) 0.62 リベット径使用範囲(φmm) 2.4/3.2/4.0/4.8/5.6/6.4

空気接続口 PT1/4 引込力(kgf) 1385

このたびは、エアーリベッターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

警告 事故、けがなどを防ぐためにご使用前に必ずお読みください。

- 作業場所では、保護メガネ・防音保護具を着用してください。
- 本製品を、ガソリン、ナフサ、洗浄溶剤などのような可燃性物質の近くで作動させないでください。作業は、可燃物のない清潔でよく換気された場所で行ってください。
- 落とした工具や衝撃を受けた工具、使用により損傷した工具は決して使用しないでください。可動部品に緩みや破損がないか必ずチェックしてください。緩みや破損は工具の動作に影響をおよぼします。
- 本製品の取付け、操作、保守を行う前に本取扱説明書を読み理解してください。本取扱説明書を安全で取出しやすい場所に保管してください。
- 工具に油を差す、またはその他の保守作業を行う、またはアタッチメントを交換するときは必ずエアーホースを切り離してください。
- 長時間の使用を避けてください。反復動作や振動は手や腕に害をおよぼすことがあります。
- 酸素や反応ガスを使用しないでください。爆発が起こることがあります。
- 最適性能を得るため、毎日油を差してください。

安全規則

警告

1. 推奨条件の圧縮空気のみを使用してください。
2. 本製品に機能不良が見られるときは、ただちに使用を停止し、保守および修理を手配してください。
3. バランサーまたは他の支援器具と一緒に工具を使用している場合は、支援器具がしっかりと固定されているようにしてください。
4. 本製品は電氣的に絶縁されていません。通電中の電気に接触する可能性がある場合は、決して使用しないでください。
5. 本製品を使用する際は、必ず安定した足場および位置を選び、工具使用中に発生する何らかの力や作用の力に対抗するため、しっかりと工具をつかんでください。
6. テープ、ワイヤーなどを用いてオン/オフトリガーを運転位置に固定しないでください。
7. アタッチメントの取付け、調節、取外しを行う前に必ずエアの供給を切りトリガーを押し下げ供給ホース内のエアを開放してください。
8. ホースや取付部品に損耗がないかどうか定期的にチェックしてください。
ホースを持って工具を運ばないでください。エアホースが接続された状態の工具を持ち運ぶ場合は、必ずオン/オフトリガーから手を放しておいてください。
9. 工具の排気が問題を生じることや、他の人に当たることがないように注意してください。
10. 動作が停止しない限り、決して工具を下に置かないでください。

エアの供給

トリガーを完全に押し下げた状態で工具を作動させているときに工具で測定される空気圧が0.62Mpaとなるような清浄で潤滑されたエアホースを使用してください。工具へのエアの供給を切り、そのあと、工具のトリガーを押し下げて管の圧抜きを行ってください。エアホースを切り離し、取入口のプッシングに小さじ1杯(5 ml)の適当なエアツール用オイルを注ぎ入れてください。再び工具をエアホースに接続し、数秒間、ゆっくりと工具を作動させ、エアに潤滑油を循環させてください。工具をよく使用する場合は毎日工具にエアツール用オイルを差してください。そうでない場合は、動きが遅くなり始めたときやパワーがなくなり始めたときにエアツール用オイルを差してください。

潤滑

毎日、工具に油を差してください。

- a) 毎回、使用前に、エアツール用オイルを数滴、工具の空気吸込口に垂らし入れてください。
- b) 洗浄油はOリングを損傷し、工具の機能不良を引き起こす可能性があるため、決して使用しないでください。
- c) 排気口から出てくる余分な油をふき取ってください。余分な油は工具のOリングを損傷します。

警告

エンジン内の余分な油は排気口からただちに放出されます。排気口は必ず人や物から離れた方向に向けてください。



リベットをワークピースの方向に向けてください（リベットのヘッドは、ワークピースと一致させてください）



レンチを使用して、反時計方向にノズピースをゆるめ、ノズピースを交換してください。



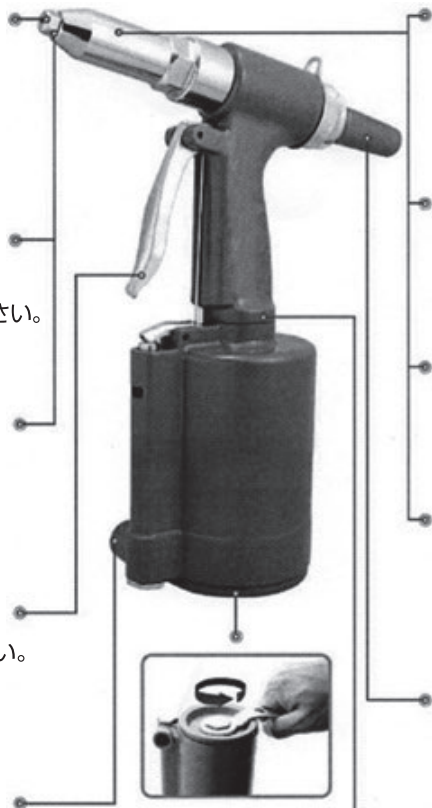
リベットをノズピースの中に入れてください。（両方のサイズが一致しなければならない）



トリガーを押して、ツールを起動させてください。



フィッティングとエアホースを結合してください。



レンチを使用して、シリンダキャップをゆるめ、作動油を補給する。



レンチを使用して、反時計方向にフレームヘッドをゆるめ、ジョーケースを調整し、ジョーを交換するか、あるいは作動油を補給してください。



ジョーの交換レンチを2つ使用し、反時計方向にジョーケースをゆるめてください。



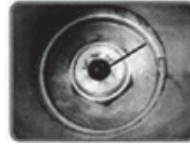
レンチを使用して、反時計方向にジョーケースとジョーケースのロックナットをゆるめ、ストロークの長さを調整してください。



レンチを使用して、正しい位置でストロークの長さをチェックしてください。ストロークの長さは、滑らかに作動しない場合には、調整する必要があります。



回収箱を時計回りに組み立ててください。



1. ピストンを引き出す。
2. シリンダ本体のOリングに達するまで作動油を補給してください。
3. 再組立の前に、Oリングにグリースを塗布してください。



注意
作動油を補給するときには、エアーホースを接続しないでください



注意
次の問題が発生したら、使用するのを中止してください。安全のため、必ず有資格者が保守または修理を行うようにしてください。

【一般的なトラブルシューティング】

問題	原因	対策
リベットが詰まった。	リベットのサイズが間違っている。	リベットを交換するたびに、同等のノズピース、ジョーおよびジョージョイントと交換する必要があります。
	ジョーケースの中が閉塞している。	調整が可能なレンチまたはスパナを使用して、フレームヘッドを分解してください。スパナを使用して、ジョーケースを分解してください。ブローガンを使用して、充填物を一掃し、それから、パーツにオイルを塗布してください。
	ノズピースの上が粘着している。	アルミ製リベットを引っ張るときに、よく起こる現象です。鋭利なもの（ツール）を使用して、充填物を除去してください。
空気漏れ	Oリングが損傷している。	O-リングを交換する必要があります。
	ネジがゆるんでいる。	ネジを締める必要があります。
ストローク長さが正しくない。	フレームのOリングが損傷または変形している。	フレームのOリングを交換しなければなりません。
ツールの動作が遅い、あるいはパワーロスがある。	給気チューブがゆるんでいる。	チューブを取付け直し、締め付けてください。
	使用圧が低すぎる	使用圧力を0.62Mpaまで大きくしてください。
作動油が不十分	リベットが引き抜けない、あるいはパワーがない。	シリンダキャップを開き、ツールに作動油を補給してください。